

使用方法

1. はじめに

電源を投入しますと、はじめにROMのチェックを行います。この間は前面の表示器にはチェック中のアドレスを高速に表示します。

チェックが終了すると約10秒間はスタートアップディレイが動作し、前面の表示器にカウントダウンの様子が「09」→「08」→「07」... と表示されます。

その後、LDPが接続されていれば「88」が表示され、LDPの初期化を行います。

初期化が終了しますと、プログラムが設定されている場合は「00」を表示してプログラムを実行しますが、出荷直後は「52」が表示されます。これは、プログラムが何も設定されていないという意味です。パソコンを接続してプログラム設定用の専用ソフトを起動し、プログラムを設定して下さい。

設定された直後からプログラムの実行を開始します（表示器は「00」を表示します）。

プログラムを間違えて設定された場合は、修正後再設定してください。同様に、再設定直後から新しいプログラムを実行します。

また、専用ソフトには、LDPを直接操作したり、入力ポート状態表示、出力ポート状態設定等の機能を持っておりますので、LDフレームナンバーの確認、入出力ポートの接続確認等にご使用ください。



パソコンとの接続ケーブルを作成する場合は、本説明書9ページの結線図を参照し、**必ず5芯ケーブル**で作成して下さい。

コントローラーとLDPを接続する際は、ボーレートが一致していることを必ずご確認ください。

ボーレートが異なっている場合は、正常に動作しません。

なお、コントローラーのボーレートの初期値は**4800BPS**です。

コントローラーのボーレートの設定方法は、次ページをご参照ください。

各LDPの出荷時ボーレートは下記の通りです。

LD-V540...4800BPS

LD-V800...9600BPS

LDPのボーレートの変更は、各メーカーの取扱説明書を参考に設定して下さい。